

磐梯朝日国立公園 地域連携 シンポジウム

インバウンド誘客に向けて地域連携の目的と効果、高付加価値化を考える

DEGAM鶴岡ツーリズムビューローは、環境省「令和7年度国立公園における感動体験・アドベンチャートラベル創出事業」に採択された全国13地域のひとつとして、六十里越街道の利活用と保全の好循環をメインテーマに、インバウンド誘客事業を行ってきました。

事業を通じ出羽三山エリア(鶴岡市、西川町)内での連携、更に磐梯朝日国立公園としての連携と共に、自然と文化が一体となった、地域特性を活かした高付加価値化を目指しています。本シンポジウムでは、他地域事例を参考に、地域連携の目的と効果、高付加価値化を考える貴重な機会として参りますので、是非、参加をご検討ください。

- 日時 12月20日(土) 15:00~17:00
- 場所 にしかわイノベーションハウス TRAS(トラス)
- 次第

1. 基調講演 (仮)磐梯朝日国立公園内外の連携による利活用と保全の好循環に向けて 歩く東北研究所 代表 後藤 光正 氏

同じ磐梯朝日国立公園の、安達太良・吾妻エリアを本拠地とする活動や、台湾山岳協会や登山愛好家との相互交流、南東北から開始するDMC/DMO連携の狙い等について講演いただきます。

2. パネルディスカッション

モデレーター:後藤光正氏

パネリスト: 山形県西川町 町長 菅野 大志 氏
いいでカヌークラブ代表 堀江 守弘 氏
庄交コーポレーション インバウンド担当部長 後藤洋一(実施者)

各地域での誘客や保全の取組、他地域との連携の事例に触れながら、出羽三山エリア、ひいては磐梯朝日国立公園での連携や高付加価値化への取組について議論します。

3. まとめ 羽黒自然保护官事務所 自然保護官 渡邊 元嗣 氏

- 参加対象者 磐梯朝日国立公園エリアで観光に携わる皆様、ご興味のある皆様
- 申込方法 裏面申込書をファックスいただくか、eメール、お電話にてお申し込みください
- お申込み・お問い合わせ先 (株)庄交コーポレーション 庄交トラベル事業部 後藤、高森
電話:0235-24-2550 email: wecare@shoko-corpo.jp
- 参加料 無料
- 定員 定員30名様
- お申込み締切 12月18日
- 主催 一般社団法人DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー(業務受託 庄交コーポレーション)

基調講演 講師紹介



後藤 光正(ごとう みつまさ)氏

アトラク東北株式会社代表、歩く東北研究所代表社員、インアウト・バウンド東北取締役として、観光コンセプト設計から商品造成、受入体制づくりまで一貫して担う“観光プロデューサー”。

東北の自然・文化・歴史を軸に広域で旅を編集し、地域とともに新しい価値を創出している。ロングトレイル造成やLNT普及、自然センター運営など、観光の活用と保全を両立する仕組みづくりにも注力。みちのく潮風トレイル踏破経験を活かし、Trail & Train や荷物配送ツアーなど新たな歩く旅も提案している。

パネリスト紹介



菅野 大志(かんの だいし)氏

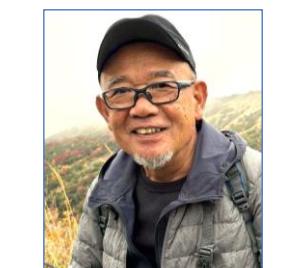
1978年、西川町に生まれ、寒河江高校、早稲田大学卒業、2001年 財務省東北財務局入局を皮切りに、金融庁監督局銀行第一課、財務省東北財務局金融監督第一課、金融庁総合政策局地域課題解決支援チーム、金融庁監督局総務課地域課題解決支援室、内閣官房まちひとしごと創生本部事務局、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局勤務を経て、
2022年4月より 山形県西川町 町長



堀江 守弘(ほりえ もりひろ)氏

2004年 東北大学卒業後、スウェーデン留学、「自然と人々との関わり」「地域の持つ価値の伝え方」に強い関心を持つ。

2017年 外資系企業勤務を経てUターン。地域に“変わらない吸引力”をもたらすべく活動開始。「いいでカヌークラブ / YAMAGATA EXPERIENCE」立ち上げ。水没林カヌー、雲海気球、氷瀑ツアーなど、山形の四季が生み出す“奇跡の瞬間”を体験できるツアーを開催、「地域の魅力をグローバルへ」昇華を目指す。



後藤 洋一(ごとう よういち) (実施者)

2014年 地銀勤務を経て庄交グループに。貸切バス担当役員などを経てインバウンド担当として2016年より台湾、欧米営業。2019年台湾事務所設立後、DEGAM鶴岡の設立に参画。2022年からはDEGAMと共に、環境省、観光庁事業に積極的に参画、多数の内外商談会、セールスコールを経験

磐梯朝日国立公園 地域連携 シンポジウム 参加申込書

お名前:

ご職業(ご所属先)

ご連絡先電話番号

Fax送信先
0235-23-5792
(庄交トラベル 後藤、高森)